

令和5年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	美術振興課
評価対象期間	平成31年4月1日～令和5年3月31日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	アートプラザ						
	所在地	大分市荷揚町3番31号						
	設置目的	市民の芸術文化活動の振興を図り、もって市民文化の向上に資すること。						
指定管理者	施設の建築年 (又は事業開始年)	昭和41年度						
	名称	アートプラザ共同事業体(㈱コンベンションリンクージ、㈱メンテナンス)						
指定管理者	代表者名	代表構成員 株式会社コンベンションリンクージ 代表取締役 平位 博昭						
	所在地	大分市府内町1丁目3番18号 ポラリス府内						
指定管理業務の内容	①管理施設の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理物件の維持管理に関する業務 ④その他指定管理に付随する業務 ただし、3階磯崎新建築展示室及び2階60年代ホール展示業務、並びに1階収蔵庫本来の業務管理は市直営とする。							
料金体系	入館料：無料 貸館料：市民ギャラリーA：5,500円/日、市民ギャラリーB：2,350円/日、アートホール：9,950円/日・1,200円/時間、研修室：720円/時間、実技室：220円/時間 1.利用時間に1時間未満の端数があるとき、又はその利用時間が1時間未満のときは1時間とする。 2.冷暖房期間中は、上記により算定した利用料の4割に相当する額(その額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額)を加算する。							
利用料金制	導入済		選定方法			公募		
指定期間	平成 31年 4月 1日～令和 6年 3月 31日 (5年間)				導入年度		平成19年度	
利用者数 (単位：人)					R4年度 目標④	180,000	達成率 ①/④	59%
18年度② (直営時)	30年度	R1年度	R2年度	R3年度③	R4年度①	18年度比 ①-②	R3年度比 ①-③	
138,162	172,799	161,900	56,609	78,624	105,623	▲ 32,539	26,999	
管理運営経費の削減額(直営時比較・前指定期間比較) (単位：千円)								
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度30年度(c)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)-(b)	前指定期間比較 (a)-(c)	
79,413	73,540	74,220	76,026	75,931	75,949	▲ 3,464	2,409	
利用者満足度 (%)		満足		やや満足		直営時又は導入1年目		令和4年度
		70		10		10人(直営時)		22人

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組	40		32
(1) 施設の設置目的の達成	20	4	16
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。			
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。			
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。	【評価の理由】 利用者数(目標)：180,000人 利用者数(実績)：(R1)161,900人、(R2)56,609人、(R3)78,624人、(R4)105,623人 ○自主企画事業として令和4年度に3回開催した人気アートイベントである「アートマーケット」では、コロナ禍において各回1,000人を超える来場者で賑わった。当イベントは、出店作家をより多くの市民へ紹介する場としての役割を果たしている。 ○ホームページや機関紙、SNSの活用、他施設との連携のほか、メディアとの関わりを生かし、広告費を抑えつつ積極的な広報を行っている点が評価できる。県内各地在住の若手アーティストを発掘し、活動を紹介する自主企画を継続していることが強みである。 ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度に引き続き施設利用者数が低迷しているが、徐々に回復の傾向にあり、年間利用者数は前年度より約2万6千人の増加となった。		
(2) 利用者の満足度	20	4	16
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。			
②サービスの質や量は向上しているか。			
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。			
④利用者への情報提供が十分になされたか。	【評価の理由】 自主企画事業開催件数：(R1)49件、(R2)37件、(R3)48件、(R4)55件 ○令和4年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、施設予約のキャンセルや自主企画事業の中止に伴い、令和元年度と比較して利用者数が約65%にとどまった。一方で、開催された自主企画事業に対するアンケートでは、満足度の高い回答が多くみられた。 ○防災訓練や介助研修等、教育指導を徹底しており、施設利用者およびイベント主催者への対応は良好である。		
2 効率性の向上等に関する取組	30		22
(1) 経費の低減等	20	4	16
①施設の管理運営において経費の削減が図られているか。			
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。	【評価の理由】 ○再委託は適切に実施されている。 ○節電の取組みや、使用済み封筒・ポスターの再利用などによる経費削減に努めている。令和4年度は電力料金が高騰し、予算に対して大きな費用負担が発生したため、昨年度に比べ光熱水費に対する支出が約299万円増加している。		
(2) 収入の増加	10	3	6
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】 利用料金収入：(R1)4,466千円、(R2)3,089千円、(R3)3,621千円、(R4)3,863千円 自主事業収入：(R1)5,998千円、(R2)370千円、(R3)1,351千円、(R4)1,706千円 ○令和4年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、令和元年度以前に比べ、貸館収入および自主企画事業収入が減少しているが、前年度と比較すると、利用料金収入は約24万円増、自主企画については開催したイベントが増えたため事業収入は約35万円増となった。収入合計は前年度比約75万円増となった。			

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	30		24
(1) 施設の管理運営の実施状況	15	4	12
①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。			
②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。			
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	【評価の理由】 ○適正な人員配置を継続しており、良好である。 ○接遇研修、避難訓練、人権・同和問題研修などを積極的に実施している。また、施設の特徴を理解し対応している点が評価できる。 ○令和4年度に市が実施した、建築物躯体健全性調査に関して、調査に伴う不便をかける点についての施設利用者への説明を行った。 ○勤務スタッフの地元雇用を行い、地元商店街や大分県立美術館などの他文化施設との連携を図っている。また新聞やラジオなどの広報を積極的にを行い、アートプラザの認知度の上昇およびイベントへの参加を促すことに努めている。貸館業務においては、市民の作品展示を積極的に受け入れており、自主企画事業においても、地元の若手アーティストへの支援を行うなど、施設の設置目的に沿った事業を実施できている。		
(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など	15	4	12
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)の遵守等に遺漏はないか。			
②施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。			
③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。			
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。	【評価の理由】 ○関連法令の遵守、個人情報保護対策は適切に行われている。 ○苦情やトラブルは少なく、公正な対応が行われている。また、市民からの意見を受け止め、改善可能な点は対応している。 ○月次モニタリングの際は収支確認において、適切な事務処理が行われている。 ○施設の老朽化が進んでいるが、適宜修繕等の対応を行い、利用者の安全確保に努めている。 ○独自で緊急時対応マニュアルを作成し、防災訓練を年2回実施することにより、緊急時の即応体制が確保されている。		

【総合評価】

合計得点(100点満点)	78	評価ランク(S~E)	B
--------------	----	------------	---

【評価の理由】

指定管理期間の5年間のうち約3年間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、利用者数や利用料金収入等が大きく減少した。活動や集客が限定されるなかで、工夫を凝らした自主企画事業の開催により、市民が磯崎建築を学ぶ機会や、芸術文化活動の創作・発表の場を提供している。また令和4年度に発足した「建築キッズボランティアガイド」では、磯崎建築をはじめとした大分の建築・文化を学ぶことでその魅力を発信できる人材育成を目的としており、新たな利用者層の獲得や、子どもたちの今後の活躍が期待できる自主事業である。さらに、市美術館・県立美術館・周辺商店街などとの連携を図り、中心市街地における芸術文化の発信拠点としての機能を果たしているといえる。

【今後の対応】

今後も引き続き、中心市街地における芸術文化の発信拠点として、地域住民や商業施設、市美術館をはじめとした文化施設との連携を深め、市内外に向けた発信の場を広げること、新たな利用者層の獲得を期待したい。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①大分市として、小中学生のアートプラザの来館の有無について調査し、その結果を検証していただきたい。小中学生の美術に関する意識がどの程度あるか把握できるとよいと思う。	①小中学生が美術に興味を持ってもらえるように、今後も引き続き親子で参加できる講座等の開催に努めていく。
②アンケートを見ると、常連が多いようにあるが、公益性の観点から、より多くの人に利用してもらえるよう工夫を重ねていただきたい。	②令和4年度末から、大分県建築士会大分支部との共催で「建築キッズボランティアガイド」を立ち上げ、3回の講習を行った。磯崎建築をはじめとした建築知識を後世に伝え、大分に対する誇りと愛着を深めてもらうことを目的としながら、子どもたちの自主性を尊重したイベントや企画づくりができていく。また、子どもガイドの活躍により、新たに、若い世代の利用者層の獲得を目指している。
③アンケート集計結果をパーセンテージ等で示したほうが分かりやすい。	③アンケートについては、今年度報告分からパーセンテージ表記を併記することとした。

【R5年度 指定管理者評価部会の意見】

- 【効率性の向上等に関する取組】
 - 季節により稼働率に変化が見られるため、さらなる活用に向けて季節による利用料金の変動を検討されたい。
- 【施設の設置目的の達成に関する取組】
 - 施設全体のLED化は難しいと思うが、作品をより効果的に見せるための部分的なLED照明を検討されたい。
- 【管理運営に関する取組】
 - モニタリング評価がここ数年同じとなっているため、市としての要望事項を記録として残しておくのが望ましい。